

～ 11歳・12歳のお子様がいる保護者の方へ～

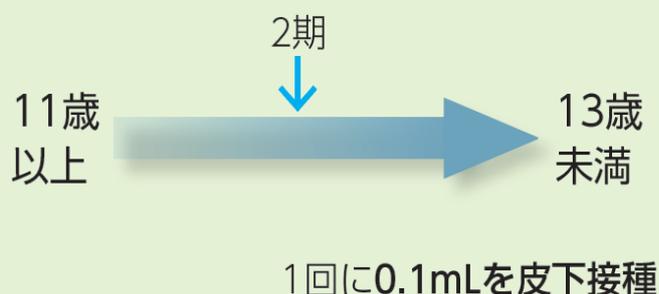
## DT2期予防接種のお知らせ

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 対象年齢 | 11歳以上13歳未満の者                       |
| 接種回数 | 1回                                 |
| 接種費用 | 全額公費負担（無料）                         |
| 接種場所 | 別紙の市内指定医療機関 または<br>本島内の地区医師会会員医療機関 |

（※接種前に予約を行い、必ず親子（母子）健康手帳を持参して下さい。）

### ■DT2期予防接種 接種スケジュール

【標準:11歳以上12歳未満】

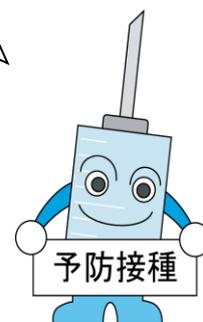


学校行事や課外活動等で忙しいため、早めに接種をお願いします 📌

【お問い合わせ先】  
浦添市保健相談センター  
健康づくり課 予防係  
☎ 098-875-2100

DTワクチンで防げる病気って、どんな病気？

DT … ジフテリア【D】破傷風【T】



ジフテリアは、ジフテリア菌によって起こる病気です。最後に報告されたのが1999年であり、現在となっては稀になりましたが、かつては年間8万人の患者が発生し、そのうち10%程度が亡くなっていた重要な病気です。

特に5歳以下や40歳以上の方が重症化しやすく、主に気道の分泌物によってうつり、のどなどに感染して毒素を放出します。この毒素が心臓の筋肉や神経に作用することで、眼球や目の横隔膜（呼吸に必要な筋肉）などの麻痺、心不全等をきたし、重篤になる場合や亡くなってしまうことがあります。現在はワクチン接種の効果により、日本国内での患者は発生していませんが、かつて接種率の低下により再流行した国もあるため、今後も予防が必要な病気です。

破傷風は破傷風菌によって発生し、かかった場合に亡くなる割合が非常に高い病気です。

以前は新生児の発生も見られましたが、近年は 30 歳以上の成人を中心に患者が発生しています。

主に傷口に菌が入り込んで感染を起こし、毒素を通してさまざまな神経に作用します。口が開きづらい、顎が疲れるといった症状から始まり、歩行や・排尿・排便の障害を経て、最後には全身の筋肉が固くなり、体を弓のように反り返らせたり、息ができなくなります。

## DTワクチンについて

DTワクチンは、ジフテリア(D)・破傷風(T)の2つの病気を予防するワクチンです。

ワクチン接種により、ジフテリアの罹患リスクを 95%程度、破傷風に関しては 100%近い十分な抗体を獲得すると報告されています。年齢に関わらずかかると危険な上記の2つの病気にかからないよう、予防効果を再度強化するために接種が必要なワクチンです。

## DTワクチンの副反応について

稀に報告される重い副反応としては、ショック、アナフィラキシーがあります。

そのほか一定の頻度で見られるとして報告されている副反応については下記のとおりです。

局所症状：発赤、腫脹、疼痛、硬結

全身症状：発熱、悪寒、倦怠感、下痢、めまい、関節痛

しかし、これらは一過性であり、2～3日で消失（※）すると言われています。

※硬結は1～2週間残存することがあります。また、2回以上の被接種者にはときに著しい局所反応を呈することがありますが、通常数日中に消失します。

## 予防接種法の健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了する または障害が治癒する期間まで支給されます。

ただし、健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

1994年に予防接種法が改正され、1948年に制定されて以来続いていた強制義務接種から個別勸奨義務接種(努力義務接種)に切り替わっています。

そのため強制ではありません。